

9月田原市議会傍聴記

地方政治
クリエイト
伊藤 秀昭

田原市議会9月定例会の一般質問は9月5日から2日間行われ、9人が登壇し、渥美半島の活性化について様々な角度から市当局に質問した。

■廃校を利用した田原市の活性化
最初に登壇した河邊正男氏(共産)は、小中学校の統廃合計画が進む田原市で廃校を利用した田原市の活性化のために働きながら学べる「ア

田原市議会9月定例会の一般質問は9月5日から2日間行われ、9人が登壇し、渥美半島の活性化について様々な角度から市当局に質問した。

伝わってくる質問だった。

河邊氏の提案に賛同の意を示した市長は、農業短期大学を公約にしているはず。その実現への青写真を、そろそろ示すべきでないか。

■空き家対策
岡本禎徳氏(自民クラブ)は、全国的に問題になっている空き家問題を取り上げた。

都市整備部長は国の住宅土地統計調査によれば、市内には

住宅が2万570戸あり、空き家が1540戸、自治会の調査では610戸が利用できる」と現状を説明し、「適正な維持管理が行われておらず、防災上、防犯上、景観上の問題が

要請した。

■情報セキュリティ対策
平松昭徳氏(市民クラブ)は、進化する情報通信技術社会でその重要性が増す中、日本年金機構や大企業の情報流失、

あり、所有権の分散で対応が困難になっていく」などを危惧した。

岡本氏は空き家・空き地バンク事業の登録を増やすために、支援制度などで

平松氏はウイルス感染時の対応や緊急時対応、職員教育、

田原市、新城市などでのトラブルから情報セキュリティ対策について取り上げた。

は昨年4月からの新教育委員会制度による、教育大綱や総合教育会議の意義について質問した。

総花的な質疑に終始し、田原市の情報セキュリティ対策のどこに問題があるのかと絞り込んでいく議論が欲しかった。

■新教育制度
辻史子氏(公明)

辻史子氏(公明)

辻史子氏(公明)

とに学び、人が輝く田原の人づくり」として発表されてお

「教育大綱」や「総合会議」を辻氏がどう評価し、どう課題を

整理しているのかが語られないと議論が深まらない。小中一貫校」や「チーム学校」についても、辻氏は田原市に必要と

この制度は昨年4月から始まっており、すでに今年2月に教育大綱「ふるさ

に取り組むのかの議論がなく、項目の一般的説明を聞いているだけ。表面をなぞっただけは何事も変わらない。

■サーフタウン構想
杉浦文平氏(無所属)は、まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき多くのサーフターがサーフィンを楽しみ、世界や全国から選ばれる街を目指すサーフタウン構想について取り上げた。

杉浦文平氏(無所属)は、まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき多くのサーフターがサーフィンを楽しみ、世界や全国から選ばれる街を目指すサーフタウン構想について取り上げた。

杉浦文平氏(無所属)は、まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき多くのサーフターがサーフィンを楽しみ、世界や全国から選ばれる街を目指すサーフタウン構想について取り上げた。

諸条件の整理と具体的な施策をまとめるための取り組みや、交付金を利用したPR事業や全日本サーフィン選手権大会の開催支援を行い、宿泊数は延べ8000泊あり、大きな経済効果があった」とした。

また八島海浜公園整備にかかる取り組みも報告された。杉浦氏は人口増加につながるべく取り組み例として北海道ニセコ町を取り上げ、インバウンド対策を要請し、その取り組みに期待した。

また八島海浜公園整備にかかる取り組みも報告された。杉浦氏は人口増加につながるべく取り組み例として北海道ニセコ町を取り上げ、インバウンド対策を要請し、その取り組みに期待した。

また八島海浜公園整備にかかる取り組みも報告された。杉浦氏は人口増加につながるべく取り組み例として北海道ニセコ町を取り上げ、インバウンド対策を要請し、その取り組みに期待した。

市長は農業短大の青写真を示せ